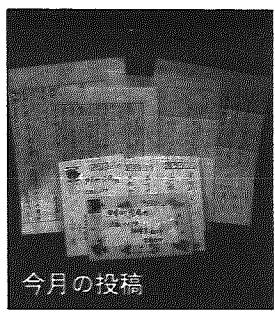


街 か ど

◆募集しています
 • 短歌・俳句
 • 詩・隨筆
 • イラスト・写真
 • マンガ・その他
 ◆町への意見や要望も受け付けます
 ◆匿名でもよいですが連絡先を忘れずに
 ◆投稿・連絡先は
 黒崎町大野 2843-1
 広報「街かど」係
 ☎377-3101
 (内線335)



今月の投稿

短歌 黒崎短歌会

今世は不安不満の多かれど喜び
生きるあかし残さん

大谷 モト

みやしろの松の大樹の枝の間を雲
棚びきて縞をおなす

小出美喜子

年々に老いやく先の寂しさの現在
この身を弥陀にまかせて

上山 恵子

雪の中すでに花咲きたくましく寒
さに耐えて春を待つ枇杷

長谷川トリ

初陽浴び天翔り行く白鳥の目指す
は佐湯か荊田の跡か

笠原 セツ

日曜の遅き朝を待ち待ちし鶴にさ
やかに背戸の柿食む

泉井 ヨシ

初雪のつもれる上に山茶花のはな
びら散りて紅の彩濃し

竹中千代子

朝さめて汝の居ることが幸と夫
の言聞く元旦の幸

阿部 淨子

青春を取り戻したるジャズ特集テ
ネシーワルツ深夜便に聴く

大矢 キイ

空そむる朝日とともに元旦の大空
渡る白鳥の群

丸山 幸

師走とは思えぬ一日枯草に座りて
ぬくぬく陽の恵み享く

永田キヨエ

ひとりの日重ねて生きて寒椿

渡る白鳥の群

武威野の空の深さや枯木立

春者の子歩幅小さく歩きけり

鯉撫ねて俎を打つ寒厨

初賀ひは脳内革命上下巻

孝子

春者の子歩幅小さく歩きけり

鯉撫ねて俎を打つ寒厨

初賀ひは脳内革命上下巻

孝子

俳句 黒崎俳句会

Q & A コーナー

Q 3歳の娘ですが、寝る時に指しゃぶりをしないと眠ることができません。先日、歯科医から「指しゃぶりのせいで前歯が出てます。今すぐやめるように」と言われました。今まで、無くて七くせと、気楽に構えていたのですが、どうしてよいのかとまどっています。

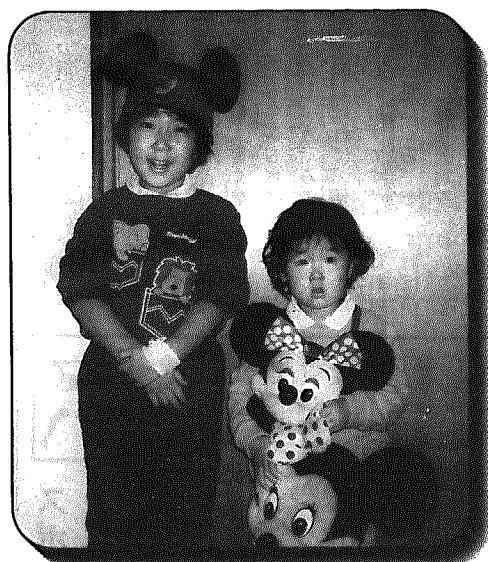
A お子さんの指しゃぶりを心配されるお母さんは多いようです。とかく指しゃぶりは罪悪感されがちで、歯並びが悪くなり、また、欲求不満の表れとも言われことがあります。

しかし最近では、指しゃぶりは子供にとつて、自分の世界に浸り不安を静める遊びのひとつととらえられています。成長するにつれほとんどのうちますが、上あごの前歯が永久歯に生え替わる小学校入学前後になつても消えない時は、歯並びへの影響から、やめさせる努力は必要です。

その場合、むりやり押しつけるのではなく、子供の気持ちを傷つけないように指導する方がポイントです。やめない原因があるはずですから、子供の一日の生活を点検してみてください。余裕をもちら対処し、見守っていくことが大切でしょう。

新潟県歯科医師会

わが家の 月ドリ



一歳以上、三歳以下の赤ちゃんを紹介するコーナーです。掲載を希望される方は、写真と氏名(フリガナも)・生年月日・性別・ご両親の名前・住所(自治会名も)・電話番号・コメント(五十字程度)を添えて企画商工課広報統計係へ。

「男の子」と言われ
続けてもう2年。ステキなレディーになつたでしょう。今日は広報(公園)デビューです。

山田佳澄ちゃん(右)
H6.10.19生
山田祐加ちゃん(左)
(5歳)
父 浩
母 和子
(鳥原大明)

入会希望は社会教育課へ
377-3101

食 郷土 料理 — 食生活改善推進委員会 —

いとこ煮

- ① 小豆はきれいに洗って、一晩水につけておく。
- ② ①の小豆にたっぷりと水を加えて火にかけ、沸騰直前に1カップの水を入れて小豆をしづめ、煮汁をすっかり捨てる。これを2回繰り返す。
- ③ ②の小豆に水をたっぷりと加え、柔らかく煮る。
- ④ れんこんは小さめの乱切りにして酢水に漬け、③の小豆を加える。れんこんは柔らかく煮る。れんこんは柔らかく味付けをし、ききませ煮汁がなくなるまで煮て火を止める。そのまま20分蒸らす。

田んぼで取れるれんこんと、畑で取れる小豆で、いとこ煮という名がついた。

●ビタミンB₁は体内にとり入れられた栄養素が分解され、吸収されるのに働く。小豆はこのB₁が非常に多い。
 ●小豆、れんこん共に纖維があり、便秘予防によい。



材料4人分

れんこん	250g
小豆	250g
塩	小さじ2~3

- ビタミンB₁は体内にとり入れられた栄養素が分解され、吸収されるのに働く。小豆はこのB₁が非常に多い。
- 小豆、れんこん共に纖維があり、便秘予防によい。

いま私達が住んでいるこの黒崎の地は何時頃から拓け、どんな人が住みどんな生活をしていたのであるか。そしてどんな移り変わりを経て今日の我々の生活につながっているのであろうか。

そんな素朴な疑問やら、ひたむきな探究心やらをもつていろいろの方が多いと思います。

『古きを温ねて新しきを知る』
春字級ではこんなニーズに応えて歴史講座を開講し、シリーズ第二回目が一月二十日、黒崎荘に催されました。

今回、「黒崎の原始・古代・中世」と題して町教委職員の講義でした。

黒崎町の中で最も早く開けた黎明の地、緒立遺跡の域内で講師さんの深い学識に裏打ちされた熱意溢れるお話を承って大変感謝いたしました。「常民文化史料館」に保存展示されている緒立遺跡から発掘された繩文・弥生時代の石器・葬祭具等の実物を手に触れてみて、古代人の生活を偲びまた、平

笠 原 文 雄

歴史講座に出席して

第45号

入会希望は社会教育課へ
377-3101

想像していたより丁寧でもなく柔らかで、戦時に食わされたコーリヤン飯よりもけるのではないかと思つて話がその他寫真やパネルを沢山使われて話が身近で解り易く、時には質疑にも答へられて大変興味深く、和氣あいのの中に時間の経つのも忘れるほどで、受講生一同「来よかつた」「いい勉強になった」「また逢いましょう」等と言い乍ら散会しました。